令和６年度

能代市の学校教育

学び合う　感謝と思いやりにあふれる

わのまち 能代

学校教育の基本方針

豊かな人間性を育む学校教育の推進

◆学校教育の重点◆

一　主体的で、創意ある教育活動の推進

二　心豊かで、たくましい子どもを育てる指導

三　基礎学力の向上を図る学習指導

四　幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

五　安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

能代市教育委員会

学校教育の重点

1　主体的で、創意ある教育活動の推進

重　　点	実践事項
(1) カリキュラム・マネジメントの視点を基に、ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進	①郷土の自然・歴史や伝統・文化・産業等を生かした教育課程の編成 ②将来の社会的・職業的自立を念頭においた、全体計画や年間計画の工夫・改善
(2) 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度の構築	①学校・家庭・地域の連携・協働による、子どもたちの成長を支える活動の推進 ②小・中の系統性を踏まえた、地域全体で子どもを育む体制づくり

2　心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進

重　　点	実践事項
(1) 自己実現を支える生徒指導	①不登校・いじめ等の未然防止、早期発見、即時対応の徹底 ②共感的な人間関係を育む学級経営の充実 ③校内体制の機能化（組織的かつ迅速な対応）
(2) 豊かな心と健やかな体の育成	①教育活動全体を通じて行う、組織的で一貫した道徳教育の推進 ②共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の構築 ③健康的な生活習慣の定着や体力向上を図る、継続的な指導の充実

3　基礎学力の向上を図る学習指導

重　　点	実践事項
(1)「秋田の探究型授業」を基軸とした授業づくり	①秋田の探究型授業の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実 ②思考を広げ深められる、言語活動の効果的な位置付け ③思考・表現ツールとしてのＩＣＴ機器の活用 ④諸調査の結果の分析による指導方法の工夫改善

4　幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

重　　点	実践事項
(1) 学校を活性化させるための校内研修	①教科・学年の枠を超えた研究の充実 ②外部指導者の活用による客観的な検証機会の充実
(2) 今日的な教育課題に対応する市教委研修	①学校のニーズに応じた学校訪問による、学校組織活性化研修支援 ②教師一人一人のキャリアステージに応じた資質向上研修の充実

5　安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

重　　点	実践事項
(1) 学校安全に関する指導の推進と学校施設の適切な維持管理	①自分の命は自分で守ることができる児童生徒の育成を目指す安全教育の充実 ②ＰＤＣＡサイクルを機能させた安全管理体制の充実

R6　能代市の授業づくり【本年度の重点】

学習の見通しをもつ

自分の考えをもつ

集団(ペア・グループ・学級)で話し合う

学習内容や方法を振り返る

【「秋田の探究型授業」の基本プロセス】

主体的・対話的で深い学びを考慮した授業展開の工夫

◇既習事項を生かしながら児童生徒の意欲を引き出し、主体的な活動を促すような課題の設定をするとともに、課題に対する予想や見通しをもつ時間を設定する。
◇思考・表現ツールやスタディ・ログの役割としてＩＣＴ機器を効率的に活用する。
◇明確な目的をもった机間指導、深い学びにつながる意図的指名等、全ての児童生徒がねらいを達成する学び合いになるようコーディネートする。
◇どんな資質・能力が身に付いたかを児童生徒が実感できるような振り返りの場を設定する。

- コンパクトでインパクトのある導入か
- よく使うから、よりよく使うＩＣＴへ変化しているか
- 全ての児童生徒の学力を保障する学び合いとなっているか
- 課題とまとめの整合性を図るとともに、振り返りの観点を設定しているか

R6　能代市の特色ある取組

1　カリキュラム・マネジメント３か年計画

学校経営目標達成に向けて、全教職員が学校経営に参画意識をもって、児童生徒の資質・能力を育成

年　　度	内　　容
令和５年度	・全教科等の指導案に育てたい資質・能力及び関連する単元等を明記 ・令和４年度に実践校が作成した単元配列表を基に、各校全学年において単元配列表を作成
令和６年度	・教務・研究主任会において、単元配列表を持ち寄り、加除・修正を実施
令和７年度	・全教職員が学校教育目標のグランドデザインづくりに参画 ・育てたい資質・能力に沿って学年部及び各教科等の重点を設定 ・全教育活動においてＰＤＣＡサイクルの確立 ・校長会・教頭会において、カリキュラム・マネジメントについての協議の場を設置

2　「自立」に向けた系統的な特別支援教育

就学前 → 小学校 → 中学校 → **自立**

◆能代市特別支援教育統括コーディネーター・能代市特別支援教育アドバイザー
５歳児親子相談や幼児通級指導教室、特別支援教室等の運用状況を把握し、自立に必要な指導方法や支援の在り方等について、教員や指導員・支援員に助言する。

◆特別支援教育指導員・特別支援教育支援員
支援を必要とする児童生徒への学習支援・生活支援をする。

◆５歳児親子相談
発達検査を促す。

◆幼児通級指導教室（すてっぷ）
入学前に小集団で指導する。

◆特別支援教室（ステップアップ）
小集団での授業を通して小学校生活への適応を図る。

◆移動通級指導教室（県）
系統的な特別支援教育システムの有効活用を図る。

3　教育・保育の推進体制の充実を図るための幼児教育・保育アドバイザーの配置

・就学前教育と小学校教育との円滑な接続への取組
・就学前施設及び小学校への巡回訪問・助言等
・就学前施設・小学校の職員を対象とした合同研修会の開催
・県との連携体制の強化
・モデル地区（第五小、二ツ井小）における「架け橋プログラム」作成について指導・助言

⇨ 教育・保育の質的向上

能代市教育委員会の学校訪問

秋田県教育委員会と連動したＰＤＣＡ

所長訪問 ５月下旬～７月上旬	○各校の課題を明らかにし、授業改善に向けた目標を具体的に設定するために、北教育事務所長・山本出張所長の学校訪問に、市教委も同行し、学校とともに指導を受けます。　【各校１回】
要請訪問 （希望校へ）	◎各校の研修の在り方や授業改善の取組について、指導主事が訪問して指導助言します。市教委では、指導案検討会から共に授業研究に取り組んだり、事後研究会をコーディネートしたりすることも可能です。
市教委訪問 ９月下旬～11月下旬	◎各校の経営方針の実践と授業改善等の成果を確認するために、教育長・学校教育課長・参事・指導主事が訪問し、全職員の授業を参観し、助言します。　【各校１回】

令和６年度　年間行事予定

学校教育課・教育研究所関連事業

月	主催・所管事業
４月	・各交付式での情報交換・研修 ・全国学力・学習状況調査（18日） ・教務・研究主任協議会（26日）
５月	・北教育事務所長訪問（～7月上旬） ・第１回Ｑ－Ｕアンケート ・第１回幼保小連携推進協議会（14日） ・市初任研Ⅰ（22日） ・読書活動推進研修会（24日） ・５歳児親子相談（～2月） ・幼児通級指導教室（～3月）
６月	・講師等研修会（４日） ・特別支援教育担任等研修会（26日） ・第１回ＩＣＴ推進リーダー研修会（28日）
７月	・理科学力向上研修会（９日） ・児童生徒支援アドバイザー等訪問（長期休業中）
８月	・心の教室相談員情報交換会（１日） ・学校図書支援員研修会（２日） ・外国語活動・外国語研修会（19日） ・市初任研Ⅱ（21日）
９月	・市教委訪問（～11月下旬） ・特別支援教育指導員・支援員研修会（24日）
11月	・第２回幼保小連携推進協議会（13日） ・未来を創る能代っ子ふるさと会議（18日） ・能代市教育支援委員会（19日） ・第２回ＩＣＴ推進リーダー研修会（28日）
12月	・県学習状況調査（小学校：４日、中学校：５日） ・いじめ問題対策連絡協議会（９日） ・第２回Ｑ－Ｕアンケート
１月	・事務指導（小学校）
２月	・教育研究所運営協議会（７日） ・第３回ＩＣＴ推進リーダー研修会（10日） ・第３回幼保小連携推進協議会（20日） ・「はまなす広場」運営協議会（下旬）
通年	・教育支援センター「はまなす広場」　毎週（月）～（金）　9:00～15:00 ・教育相談「風の子電話」（電話相談・面談）　毎週（月）～（金）　9:30～15:00 ・不登校保護者会（月１回）　第３木曜　19:00～21:00

＊開催期日は変更になる場合があります。

能代市教育委員会

TEL 0185-73-5178　FAX 0185-73-6459　〒018-3192　能代市二ツ井町字上台１－１

〈表紙の写真提供〉左：淳城西小学校　中央：能代南中学校　右：第四小学校